

神前ホームの活動

灘区では、10年ほど前から、区内にある神前ホーム（グループホーム）の宿直、見守り支援（有償）に、男性会員が参加しています。

また利用者の夕食づくり支援（有償）にも、女性会員が参加しています。

その神前ホームの新管理者、横関勇さんが新緑福社会の機関誌に「グループわ」の活動について載せてくださいました。

会員の励みになります!!

神前ホーム

管理者 横関 勇



神前ホームは、灘区にあり、JR六甲道を少し北に進んだ住宅地の中にあるグループホームです。施設は、2階建ての民家を転用しており、平成9年8月に開設されました。

グループホームは、障がいを持った人たちが共同生活を送り、職員がその手助けをするという形で運営されており、障がいのある方が、地域で生活していく上で重要な役割を果たしています。現在、男性4人が利用されており、日中は、(株)いくせいなどで就労しています。

生活支援に当たっては、利用者が自主性を保ちながら、意欲的に生活が送れるよう生活習慣のチェックや体調管理に努めているほか、集団生活の中で、対人関係や協調性を養うため、誕生会や食事会を行っています。昨年10月には、丹波篠山に日帰り旅行を行い、観光や温泉への入浴を行いました。参加者全員が日頃とは異なった体験を通じて、大いに心身のリフレッシュを行いました。

なお、運営にあたっては宿直員の確保が大きな課題ですが、これについては、シルバーカレッジのOBで組織する「特定非営利法人 社会還元センター グループわ」のご協力を得て、確保することができています。また地域の一員として、もちつき大会などにも参加し、地域との交流を深めるよう努めています。